

Saitama Ladies



keieisha Club



会長挨拶



サイタマ・レディース経営者クラブ 会長 栗田美和子

令和6年度の世界社会環境は、ロシア・ウクライナ戦争、ガサ・イスラエル紛争、ミャンマー国軍クーデターなどの争いが継続したままで、一部の人の我儘が歴史を断片的に切り抜き、それを盾に取り、劣化させているのではないかと思う。本来であれば、人類は人間性の面でも地球を一つにする進化をし、我々の子孫に優れた地球を残さなければならないと思うが、そこからかけ離れた地球に対し、軌道修正の変革ができないままである。

さて、日本社会はエネルギー高騰と円安の影響ですべての商品が値上がり、更に最低賃金の上昇と人手不足により労務費をアップしなければ雇用が継続できない状況と、日本政府による令和6年4月からのベースアップ要望も重なり、定期昇給分を含めて平均5.24%のアップ率の状況である。それでも、元々の労働人口が減少している中で中小企業の雇用確保が進まない状況である。

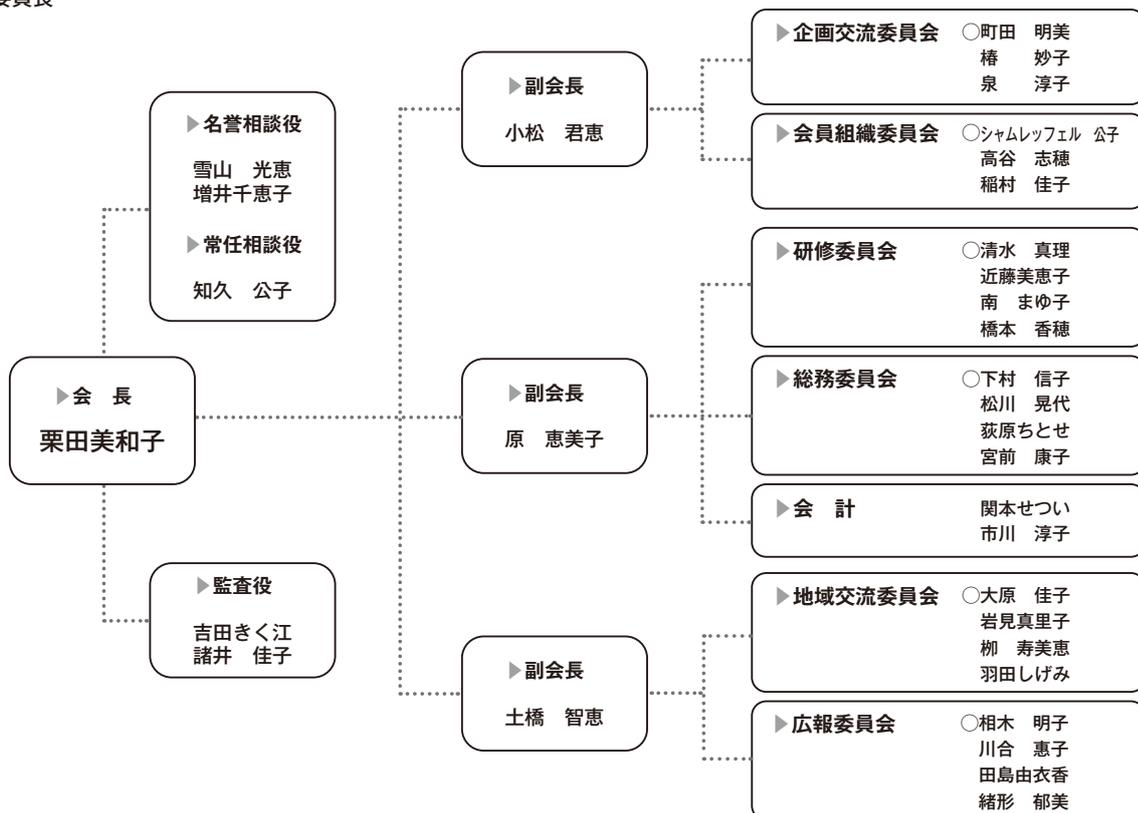
世の中に求められるDXの実践が中小企業にも求められている。

また、令和6年1月1日の能登半島地震などの天変地異も発生し、各地域や企業の災害対策の見直しを考えざるをえない環境である。その中、当会ではまず「知る事をしよう」と令和6年6月17日・18日に能登半島を研修として訪問することを計画している。多くの会員と一緒に研修したいと思う。

当会は常に女性らしい柔軟な発想と行動力を持って、埼玉県内の女性経営者企業の成長に女性らしい観点と一緒に取り組み成長したいと思う。今までの非常識と思う中にこれからの事業のオンリーワンを見出し、仲間と共に日本でオンリーワンのサイタマ・レディース経営者クラブとして埼玉にあって良かった会に成長していけるよう取り組み、発信し続ける1年とする。

令和6年度役員組織図

○：委員長



サイタマ・レディース経営者クラブセミナー 先輩から学ぼう 2023

講演1部 レディース愛がとまらない

講師 株式会社コマーム 取締役会長 小松君恵氏

講演2部 私を支えてくれたサイタマ・レディース経営者クラブ

講師 有限会社雪山堂 取締役会長 雪山光恵氏



研修委員会では、去る4月11日(火)に「先輩から学ぼう2023」セミナーを開催いたしました。サイタマ・レディースの憧れの先輩である(株)コマームの小松君恵会員、(有)雪山堂の雪山光恵会員を講師に、創業から苦労されたお話、会社が大きくなったきっかけや次世代へのバトンタッチなど、日ごろではなかなか聴けないお話を伺うことができました。

講演第1部では小松会員より、「レディース愛がとまらない」をテーマに、起業からの経緯や起業で苦労されたお話をいただきました。特にレディースのヒストリーでは、歴代の会長やレディースならではのレジェンド語録など、大変興味深い内容をダイジェストで伺いました。また、レディースのヒストリーは初めて聞くお話ばかりでしたので、続編を期待したいところです。

講演第2部では雪山会員より、「私を支えてくれたサイタマ・レディース経営者クラブ」をテーマに、起業の思



日時 令和5年4月11日(火) 15:00～17:00
場所 新都心ビジネス交流プラザ4F会議室、Zoom
後援 埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファム
担当 研修委員会



いやご苦労されたお話を伺いました。雪山堂様が額装や表装、掛け軸の修復を手掛けられているほか、数々のグッドデザイン賞を受賞したことなど、ご夫婦二人三脚で取り組まれたお話を興味深く伺いました。また後継者へのバトンタッチも進められているとのことでした。

講演後は、質疑応答の他、グループディスカッションによる意見交換を行いました。小松会員、雪山会員お二方のお話は大変興味深く、2時間の時間があっという間に過ぎてしまいました。また別の機会がありましたら、ぜひともお願いできれば、です。

改めましてご講演への御礼を申し上げます。ありがとうございました。



近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子

サイタマ・レディース経営者クラブセミナー

演題 事業承継実践例 私の考える 私なりの事業承継

講師 有限会社アイワメディカルサービス 藤田博子 CEO、内田緒織 COO

愛和病院といえば、皆さんご存知の通り日本を代表する産婦人科です。その愛和病院の医療以外の全てを運営するのがアイワメディカルサービスです。その総勢は、驚いたことに愛和病院のスタッフを上回る規模となっています。

今回私が注目したのは、なぜ親族間の承継ではなく、従業員の中から後継者を抜擢したのか？という素朴な疑問でした。その理由として藤田 CEO は、下記の4点を挙げられました。

1. 愛社精神

内田 COO は愛和病院が大好きでお子さんを5人全て愛和で出産している。

2. MBA（経営学修士）ホルダー

藤田 CEO の勧めで、2年間仕事をしつつ夜間大学に通学し MBA を取得した。

3. 非一族者（第三者目線）

ドラッカーの〈一族が同族企業に奉仕するときのみ生き残り繁栄することができる。同族企業という言葉で鍵となるのは、同族のほうではなく企業のほうである。〉という考えに共感し、「藤田・上里ファミリーの為に愛和があるわけではない。愛和グループが地域に貢献し輝き続けるために、同族がそこにいる必要がある」と考えた。そのためには、同族としての甘えの無い強固な経営の土台をつくる必要がある。

4. 社員としての豊富な経験・見識を有する。

「40 数年にわたる社長業の中で、トップマネジメントとして内田 COO にバトンを渡せたことが私の一番の功績です」とおっしゃった言葉に内田 COO への期待と信頼を強く感じました。

そのバトンを受け継いだ内田 COO は、今後藤田 CEO の考えでもある同族企業としての甘えの無い経営に向け、藤田・上里家の長女3人と力を合わせて取り組んでいくそうです。万が一藤田 CEO と意見の相違が生じた場合は、「とにかく時間をかけて説得していきます。そして短期・中期・長期計画を実行し100年企業としての基盤をつくり、どんな荒波も乗り越えていきます」と力強く宣言されました。私はこ

日時 令和5年5月9日（火） 15:00～17:00

場所 新都心ビジネス交流プラザ4F 会議室、Zoom

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ

担当 企画交流委員会

の藤田 CEO と内田 COO の深い信頼関係に、同族とは別の強固なつながりを感じ愛和病院のさらなる飛躍を確信しました。



令和5年度 定期総会・講演会・懇談会

講演会テーマ 経営者の覚悟

講師 昭和女子大学総長 坂東眞理子氏

内閣広報室参事官、男女共同参画室長、埼玉県副知事等を経て、また、ベストセラー『女性の品格』の著者でもある坂東眞理子先生が、今回講師としてご講演をされました。



I 新しい人生、社会、経済が始まる

- ①青春以降が下り坂と考えている人が多いが、人生100年時代。上り坂下り坂ではなく、ステージごとにやれることやるべきこと、楽しむことがある。
- ② PDCA から VUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) へ
- ③ OODA ループ (Observe, Orient, Decide, Act)
人生は思ってもみなかったことの連続です。前もって計画をたてて、計画通りに進んでいるかチェックするのではなく、何が起こるか分からない世の中で、いま何が起きているのか見て、やってみよう、そして変更すればいい。様子を見ながら、行動に移して、また見直すということの繰り返し。

人生100年時代 変わる職場・学習

仕事だけではなく、自分の人生とのバランスをどのようにとっていくのが大事になってきている。昔は、定年まで働き続けるので就職・就社が大事だった。ここ10年で変わってきたこととして、新卒で3年、5年で転職する。もう一回大学院に入ったり、ある程度の資産が溜まったら早期引退し、周囲に還元したり。変わってきたのが実感。それに対応した人事対策をしていかないといけない。いかに仕事をしながら無形資産を身につけるか。それは青春期だけではない。違う世界・生き方・働き方を持ってソフトネットワークの人が、かえって新しい世界を持ってきてくれる。

II 経営者に求められる挑戦

単純な受け答えだけをする仕事はどんどん ChatGPT や AI のような機械に置き換えられる。これからの会社では、分からないけどもやってみよう、やってみてダメだったらこっちへ行ってみよう等と対応できる人が大

<定期総会>

日時 令和5年6月9日(金) 15:00～15:40

場所 男女共同参画推進センター
With You さいたま 4F セミナー室

担当 総務委員会

<講演会>

日時 令和5年6月9日(金) 16:00～17:30

場所 男女共同参画推進センター
With You さいたま 4F セミナー室1・2・3・4

担当 研修委員会

<懇談会>

日時 令和5年6月9日(金) 18:00～20:00

場所 ホテルプリランテ武蔵野 2F サファイア
担当 総務委員会

事な資本になってきている。今はむしろ部下の方が最新の知識をもってい



る。そういう人たちにどこまで仕事を任せるか、経営者として判断が求められる。

働き方改革は、残業時間を減らすだけではなく、優先順位をつけることが大事。女性の進出を真剣に考えることは、経営者には、人権問題ではなく経営課題。

SDGs というと、日本だとまず環境問題とくるが、もう一つ大きな柱である人材養成を忘れてはいけない。短期的に儲かるためにはどうするかだけではなく、将来のためにという観点が大事になってきている。短期的にはもうからないかもしれないがやるべきことをやるという覚悟を決めることが、世の中が変わってきている今では大事。

最後は、「叩かなかつたらまず開かない。叩いても開かないことは多いが、自分ができる仕事は何か、今何ができるか。今までの肩書などは関係ない。そういう考え方を。自分の人生の主人は自分である。」という、心に響く坂東先生のお言葉で講演は終了しました。



関東図書株式会社 相木明子

経営力アップ 埼玉ウーマンズカフェ

演題 一步先行く健康経営 ～声のチカラで会社を元気に！～

講師 株式会社ボイスクリエーションシユクル 代表取締役 佐藤恵氏、経営戦略企画室長 佐藤直氏

埼玉ウーマンズカフェは、女性の活躍を応援し、経営について学ぶ場として、今回11回目の開催となりました。



今回の講演は佐藤氏母娘が登壇され、佐藤恵氏が独自開発した“声磨きメソッド”で企業の健康経営を支援する健康経営事業の実例紹介、2年程前に入社した佐藤直氏が苦労しながらも家業に起こしたイノベーションのお話、さらに声磨きの実践レッスンと2時間があっという間に感じる充実のセミナー内容でした。

▼佐藤恵氏の講演より

海外駐在員だった夫に帯同し、海外を転々とする13年の間で欧米と日本の学校教育に大きな違いがあると気づきました。欧米ではスピーチ、ディベート等話すことが教育の中で育まれている。一方、日本では書くことはしっかりと教えるが、話すことの訓練は受けていないという学校教育の盲点が見えました。この気づきから、帰国後に「声磨きメソッド」を独自開発し、現在は対個人のみならず、企業の健康経営を支援する事業にも取り組んでいます。支援をした企業(製造業)で、毎日の朝礼で3分間の声磨き体操、月1回の声磨き研修、フォローアップトレーニングを実施しました。最初は声を出すこともぎこちなかった社員の方々が、3か月後には危険な場面とつさに声が出せるようになり、嚥下機能の向上等の健康面への効果だけでなく社内コミュニケーション活性化という思わぬ副産物も得られました。

健康経営への取り組みは企業価値向上にも繋がり、道具も着替えも必要ない「声磨き」はどの企業でも取り組むことができると佐藤氏のお話を通じて感じました。

▼佐藤直氏の講演より

高校生の時に母が起業しましたが、大学卒業後はスポーツビジネスの世界で働いていました。母の事業の

日時 令和5年7月11日(火) 15:00～17:00
場所 M,s SQUARE、Zoom
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、武蔵野銀行
後援 埼玉県、(一社)埼玉中小企業家同友会(女性経営者クラブ・ファミ)、(公財)埼玉県産業振興公社(創業・ベンチャー支援センター埼玉)、さいたま商工会議所(女性起業家ネットワークCCS)
担当 地域交流委員会

良さは理解しており、その一方もったいなさも感じていました。営業や広報をうまくすることで、より事業が拡大していくのではと感じ、母の会社に入社することを決断しました。しかし、どこに行っても「佐藤さんの娘さん」という枕詞が付いてきて、「声磨き」の良さが伝わらず、相手にもしてもらえない。そこで、「佐藤さんの娘さん」を知ってもらう為、メディア露出を増やしました。また、ビジコンにも挑戦をしました。1度目は落選しましたが、2度目の挑戦では通過率約2割の書類審査を突破し、アトツギ甲子園東日本ブロック大会に出場。出場を機会に、個人的にメディア取材を受けるようになり、「頑張っているね」と周囲から声を掛けてもらえるようになりました。そして現在はスポーツビジネスに携わっていた経験から「声磨き」とスポーツの親和性が高いと考え、COEDO KAWAGOE F・Cとパートナー契約を締結し、「声磨き」を通してチームを支援するという自分らしさを活かした新たな取り組みを展開しています。

代表である佐藤恵氏の存在から、“自分は分不相応じゃないか”と居心地の悪さを感じることで、もがきながら成長をした佐藤直氏の前向きさや「自分らしさを発揮しながら大きくしていきたい」という言葉が印象的でした。

▼声磨きトレーニングの実践

クリアな声をつくる母音の形状記憶トレーニング



ングを佐藤恵氏が指導してくださり、参加者で実践をしました。“良い声をつくるために重要なのは呼吸”ということで、鼻から空気を吸い、①まっすぐ一定の前に吐く②あくびをした時の感じで喉を楽にする③声を押し上げる、の3つを意識し、佐藤直氏の写真を見ながら声を出しました。実践した参加者は普段の声との違いを感じ、笑顔を見せていました。

最後に「声のチカラで日本から世界を元気に！」との力強い佐藤恵氏の言葉で、セミナーは終了しました。

りか社労士事務所 沖津利可



サイタマ・レディース × 埼玉県女性管理職 コラボ交流会

ゲストスピーカー

元 JR 東日本大宮支社長

現 セントラル警備保障株式会社 取締役常務執行役員 営業本部副本部長 阪本未来子氏

埼玉県女性管理職との交流会が開催されました。ゲストスピーカーとして、今までに何度も“ガラスの天井”をやぶってきた阪本氏からお話を聞かせていただきました。



最初は、ポジティブアクション・アファーマティブアクションの女性推進から始まって、次に男女共同参画、ワークライフバランス、第3ステージからはダイバーシティマネジメントがスタート。5年くらいの間隔で、女性推進から多様性を享受するということへ変わってきた。最近、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン。エクイティが大事。ダイバーシティは多様性、事実。インクルージョンは行動、アクション。エクイティは選ぶもの。同じことを経験するために公正性を担保し、一人ひとりの能力が発揮できるための土台を作ることがこれからの社会では大事。

サービス課長、営業部長と支社長は見える景色が全然違った。制度を作っても魂がはいらないといきない。制度はあるが伝わっていない。そういうところを考えなければいけない。アンコンシャスバイアスを持っていることをどう排除・コントロールしていくか。だ

日時 令和5年9月12日(火) 18:00～20:00
場所 さいたま共済会館

いたい悪いことすると「阪本が」ではなく「女が」となる。性別でひとくくりにしたくない。「男性は」「男の子が」とも言わない。多様性の時代を先取りすると企業価値があがる。

ガラスの天井をやぶったら崖じゃダメ。ここから先に成長するには、放置せず伴走していくことが大事。誰でもアンコンシャスバイアスはあるということをもみんな自覚する。

ネットワークを続け、うまくいっていることを共有し、ビジネスにつなげる。産官学が、お互いに切磋琢磨し、新しい価値を。

自らさまざまな経験をし、壁を乗り越えてきた阪本氏だからこそのエピソードが多く、これからの活気にさせてもらえるような、バイタリティとユーモアにあふれたお話が聞けました。



関東図書株式会社 相木明子

埼玉県女性経営者支援セミナー

サイタマ・レディース×埼玉大学&学生 コラボセミナー

テーマ 「ビジネスの視点から、ダイバーシティ&インクルージョンを考える」

第一部 <講演> Sakura Mohila (サクラモヒラ) 代表 新井保枝氏

第二部 <グループ討論>

6回目となる埼玉大学とのコラボセミナーには、サイタマ・レディース会員18名が参加しました。

▼第一部

今回はSakura Mohila代表であり、当クラブ会員の
新井保枝氏によるバングラデシュでの実践事例についてお話いただきました。

駐日バングラデシュ大使の通訳をしていた新井氏は、「あなたのお金は1円も使わせない。だから来てくれ。」と元大使から何度も誘われたことをきっかけにして、30年間かけてバングラデシュのある村の女性たちに大きな変化をもたらしました。

30年前、世界の最貧国だったバングラデシュ。新井氏が訪れたナラヤンプル村では仕事はなく、また教育も受けていない状況でしたので、村民から頼みこまれて、まずは小さな学校を作りました。学校を作ると、学校の運営費がかかります。すると今度は「運営費を生むビジネスを作ってくれ。」と頼まれ、ビジネスは全くの未経験でしたが、バングラデシュの良質な絹を使用した女性の縫製仕事を組織しました。しかし、人数は集まるも仕事の質が低く、日本に届く商品は期待とは程遠い仕上がりでした。最初は質の悪い商品も買い取っていましたが、“貧しいので助けられて当たり前”という村の女性たちの強い依存意識を断ち切るため、質の悪い商品は返品することに決めました。

その後、村の外にある良いものに触れる機会を作るため、首都ダッカに拠点を持ち、選出したリーダーをダッカでトレーニングしました。その結果、仕事の質が向上し、腕の立つリーダーが村の女性たちに技術指導するシステムを構築することができました。



技術の向上とともに、日本の手芸展で受賞をするようになり、収入、自信、誇りが少しずつ

日時 令和5年10月20日(金) 13:00～16:10
場所 埼玉大学
担当 地域交流委員会

村の女性たちに蓄積されていきました。2022年にはついに、村の女性が自分たちでショップをオープンしました。新井氏の活動により、



“与えられて当たり前”から“自分自身でお金を稼ぐ”、という大きな変化が起きたのです。村で実現された、自分が自分であることに誇りを持って生きていくことができる環境。これこそ、まさにダイバーシティだと感じました。

講演後、参加した会員からは「新井さんのような方が会員にいらっしゃることが誇らしい」という賞賛の声が上がりました。

▼第二部

各グループ8名程度に分かれ、学生と経営者で「ビジネスの視点から、ダイバーシティ&インクルージョンを考える」をテーマに議論しました。経営者からは「多様な働き方に対応できるような制度づくりをしている」「障害を持った方を受け入れたい気持ちはあるが、業種や法律の壁がある」といった意見がありました。一方、学生からは「就職先を選ぶ時、ダイバーシティ&インクルージョンを会社が重視しているかどうかも重要になる」といった意見がありました。

学生とのディスカッションは、参加した会員に多くの刺激を与え、経営について新たな考えをもたらす貴重な時間となったようです。

埼玉県知事表敬訪問

日時 令和5年10月17日(火)
場所 埼玉県庁本庁舎

会長・副会長・各委員長等が埼玉県大野知事へ表敬訪問してまいりました。栗田会長の挨拶から始まり、花束を贈呈し、埼玉県知事への提言として「女性経営者等に対するアンケート調査結果」を贈呈してきました。今回は、埼玉大学の瀬山准教授よりアンケートの総括に関するご意見もいただきました。アンケート結果について大野知事と活発な意見交換が行われました。

関東図書株式会社 相木明子



アンケート調査の概要と目的

※アンケート結果は一部抜粋

今回は、より多くの回答を得るために、当クラブ会員のみならず、一般社団法人埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファミ、および、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会の皆様にも加わっていただきました。また、今回の提言の作成にあたっては、埼玉大学准教授の瀬山紀子先生ほか関係各位にご助言・ご指導をいただきました。

【調査概要】

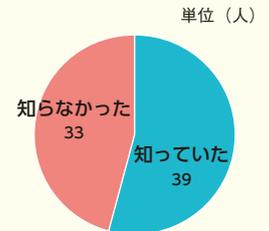
1. 方法 質問の回答は選択方式及び自由記述式による
2. 対象 令和5年9月1日サイタマ・レディーズ経営者クラブ、一般社団法人埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファミ、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会に在籍する女性経営者及び経営に参画する会社等の管理職 122名
3. 結果 回答者 72名 (回答率 59%)

【アンケート調査の目的】

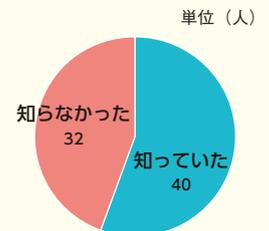
アンケート調査は、県の施策のうち、最新でかつ重要と思われる施策、変化に対応する新しいスキル獲得に向けた人材育成、及び、創業間もない経営者にとっての資金調達など3点(経営、人材育成、資金)の分野についての情報を得ることに焦点を当て実施されました。

項目：埼玉県原材料価格高騰対策支援事業について、在職者向けの技能講習について、埼玉県中小企業制度融資について、県の施策による支援事業について、今後経営者として埼玉県に望むこと、その他埼玉県に望むこと

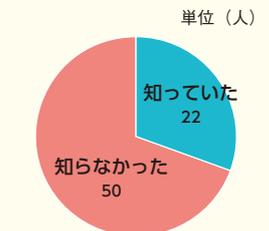
- 埼玉県原材料価格高騰対策支援事業をご存知ですか。



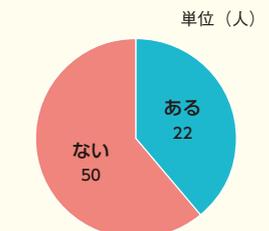
- 在職者向けの技能講習(スキルアップ講習)をご存知ですか。



- 埼玉県中小企業制度融資(起業家育成資金)をご存知ですか。



- あなたは今まで県の施策(新型コロナウイルス感染防止関連対策を除く)による支援事業などを受けたことがありますか。



関東図書株式会社 相木明子

県庁オープンデー

日時 令和5年11月14日(火) 10:00～16:00
場所 埼玉県庁

この度、11月14日県民の日を開催される「県庁オープンデー」に当クラブがPRブースを一枠いただけることになりました。会員の皆さまに出展募集をし、当クラブからは、株式会社コマーム、株式会社ヤングトラス、埼玉西濃運輸株式会社の3社が出展されました。

温かい木の香りのするどんぐりおもちゃの販売。大切な写真イラスト等をプリントし、世界で一つだけの

オリジナルバッグが作れるという体験・販売。超磁場活水器の販売、マスクに塗布するスプレーの販売等



が行われ、親子連れのお客さんなどがいらっしたようです。

関東図書株式会社 相木明子

～埼玉を女性起業家の街に～

SAITAMA Smile Women ピッチ 2023 最終審査会

本大会は埼玉県が主催する、国内外で活躍する女性起業家を輩出することを目的とした女性のためのビジネスプランコンテストです。共催である当会からも栗田美和子会長・小松君恵副会長(埼玉中小企業家同友会代表理事)が最終審査会の審査員を務めました。

一次・二次審査を経て6名がファイナリストに選ばれ、最終審査会に挑みました。当日は素晴らしいプレゼンテーションと熱い議論が繰り広げられ、会場からは声援が飛び、大変盛り上がりを見せた大会となりました。

今回は審査員特別賞として「サイタマ・レディース経営者クラブ賞」を設け、受賞者には当会の入会金および年会費が優遇される副賞が送られました。審査会場には当会のPRブースも設置され、多くの来場者にご覧いただけました。ファイナリストの中からも最優秀賞

【開催概要】

日時 令和5年11月11日(土) 13:30～16:15
会場 ソニックシティホール 4階 国際会議室
主催 埼玉県
共催 公益財団法人埼玉県産業振興公社(創業・ベンチャー支援センター埼玉)、公益財団法人埼玉県産業文化センター、一般社団法人埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファミ、サイタマ・レディース経営者クラブ、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会
担当 地域交流委員会

の西山様、優秀賞の稲村様、サイタマ・レディース経営者クラブ賞の吉田様が当会の仲間になってくださいました。
アトリエつむぎ 田島由衣香

●最優秀賞…株式会社 PDnavi 西山 深雪 氏

「出生前検査の専門家へのアクセスを身近に、正しい相談支援を」

●優秀賞…株式会社 Be-Links 稲村 佳子 氏

「リスクリングによる小規模企業 DX 共同推進事業」

●ビジネスアイデア賞…話し方サポートココロ 水嶋 恵利那 氏

「話し方×福祉」“見えないハンデ”を救う、話し方サポート事業」

●審査員特別賞(埼玉中小企業家同友会賞)・オーディエンス賞…帯バッグの小梅や ～お買い物地域支援に～ 藤代 瞳子 氏

「埋蔵帯」で地域を笑顔にする帯バッグブランド「小梅や」展開

●審査員特別賞(サイタマ・レディース経営者クラブ賞) …

川越紅茶館 coeur a coeur 吉田 幸果 氏

「喫茶店～茶園へ！埼玉県産紅茶を好きになる紅茶ツーリズム事業」

●審査員特別賞(埼玉ニュービジネス協議会賞) …

産前産後ケア専門かおりビューティサロン 一般社団法人日本産前産後ケアセラピスト協会 萩原 かおり 氏

「産前産後ケア専門の治療院経営 & セラピスト育成講座運営」



埼玉県女性経営者支援セミナー

日時 令和5年12月12日(火) 15:00～17:00
場所 新都心ビジネス交流プラザ4F会議室
担当 研修委員会

演題 キャリアチェンジで得たもの、そして“今”やるべきこと

講師 セントラル警備保障株式会社 取締役常務執行役員 営業本部副本部長 阪本未来子氏

セントラル警備保障(株) 取締役常務執行役員の阪本未来子様を講師にお招きし、「キャリアチェンジで考えたこと」「経営層として考えていること」を伺いました。前職であるJR東日本入社から常務執行役員への就任、異業種である警備保障会社へのキャリアチェンジ、経営者の観点からみた「個性の重視」などについてお話しくださりました。



1. 警備保障会社の取り組み

警備業法をベースに、施設の機械警備、交通誘導警備、群衆を整理する雑踏警備、貴重品運搬警備、身辺警備などがあり、それぞれ免許制で決められているとのことです。警備の方法も「ヒト」だけではなく、機械による警備が約半分となっています。サイバーセキュリティ、ドローンを活用した警備なども「警備」方法として取り組まれています。

2. JR東日本からのキャリアチェンジにあたって

阪本様はJR東日本から2021年にセントラル警備保障へキャリアチェンジされるにあたり気を付けたこととして、会社の風土の違いを踏まえること、また「尊敬」「愛情」「信念」を持つこと、さらに「将来を描くこと、挑戦をすること」「言葉を尽くすために、よく聞くこと」「得意・不得意の見える化をすること(得意分野を強調すること)」「意識的なストレスコントロール」を挙げられていました。見える化にあたっては、各人のスキルをマトリックス化することで「見えるようにする」、など参考になるお話いただきました。

3. 女性の働きやすさとプロ意識との関係

2023年、男女雇用機会均等法が施行されたときの新入社員が60歳を迎えるそうです。当時、労働基準法の改正により、女性の深夜労働も可能になったものの、離職する女性が増えてしまう側面もありました。そこで、女性が働きやすい環境の整備を体系的に実施することで、いきいきと活躍する女性社員を増やすことを目的とした「Fプログラム」のキックオフ宣言が社長から出されました。男性中心の企業とし

ては画期的な取り組みであります。

一方で、「女性社員にもプロの自覚・責任をもって、前向きに業務に取り組む強い意識を持ってほしい」。制度を整備しても「魂(想い)」を共有しなければなりません。その想いは、現在のセントラル警備保障の研修にも活かされています。

4. 女性役員比率と業績との関係

女性役員比率と業績の関係は相乗効果があるとのこと。価値観の多様化、グローバル化、技術(AI)の発達があり、特に価値観の多様化により「わかもの/よそもの/かわりもの」を受け入れることが企業の成長には必要であります。変容を受け入れるとは、Z世代の受け入れ、障害者の受け入れ、社会からの信頼の受け入れが重要です。

5. 仕事に対する男女差について

女性にあっては仕事はあるのかとの質問を受けますが、「性差」ではなく「個性」がある。生物学的な性差は多少あるものの、「個性」で決まるのではないのでしょうか。男女の差がなくなりつつあるものの、女性を育てる・PDCAさせる、様々なことにチャレンジしていく必要があると考えています。男女の差がない世の中がスタートするのだが、会社はまだ男女順ではありません。

6. キャリアチェンジで得たもの

阪本様は、キャリアチェンジを通じて得られたこととして、自分らしく生きるためには、「空っぽにならないように気を付けている」そうです。「自分のリトル(本能と理性とのバランス)が暴走しないように気を付けること、自分のリトルが暴走しないように、リセットしほめてあげることが大事」とのことです。55歳から体が変わるので、社会とのつながりをどうしたらよいか、自分を磨く、興味を持つ、刺激を受ける。過去を見ながら今後は次の世代を育成していきたいとのこと。



近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子

埼玉県女性経営者支援セミナー

インターンシップに対する大学と中小企業の現状を知り合う交流会

第一部<講演>

演題 「インターンシップ実施企業からの現状について」

講師 株式会社デリモ代表取締役／サイタマ・レディース経営者クラブ会長 栗田美和子氏

第二部<パネルディスカッション>

パネリスト 女子栄養大学 浅尾貴子氏 / 淑徳大学 宮澤健一郎氏
人間総合科学大学 時光一郎氏 / 拓殖大学 成澤崇禎氏

コーディネーター 岩見真里子氏

1月は「インターンシップに対する大学と中小企業の現状を知り合う交流会」を開催いたしました。



人間総合科学大学の時光一郎氏、女子栄養大学の浅尾貴子氏、淑徳大学の宮澤健一郎氏、拓殖大学の成澤崇禎氏の4名にお越しいただき、インターンシップ制度をテーマとして考える場となりました。

初めに栗田会長より「中小企業は採用難の局面にある。これから何をしたらよいかを考える場にしたい」との挨拶で始まりました。

先ず株式会社デリモの栗田社長より「インターンシップ実施企業からの現状について」お話を頂きました。

パネルディスカッションは主に次の3つのテーマについて行われました。

- ①大学のインターンシップの現状
- ②企業がインターンシップを始めるときの手続きや、企業が行うこと
- ③これからのインターンシップのあるべき姿

①大学のインターンシップの現状では

やりたいことが見つからない学生、周りの意見に左右される学生がみられる、また、企業選びでは、休日や、自宅から通えることを重視する学生も多いとのことでした。インターンシップに行った学生は、自分に自信を持ち、大人になって帰ってきます。そのよ

日時 令和6年1月16日(火) 15:00～17:00

場所 新都心ビジネス交流プラザ4F会議室、Zoom

担当 地域交流委員会

うな姿を見ることは大変うれしいことだと話されました。

②企業がインターンシップを始めるときの手続きや、企業が行うことでは

現場の受け入れ態勢も大事なので、どんなインターンシップをしてもらえるのかプレゼンをしてもらいます、とのことでした。

③これからのインターンシップのあるべき姿では

出来れば5日間以上行うこと(60時間は欲しい)、課題解決型のインターンシップを行うことや、経営者からは社長の思いを伝えるのと同時に、業界全体の情報も伝えることや、現場の受け入れ態勢を整えることなどの、企業側が事前の準備をしてインターンシップ生を受け入れることが大事とのことでした。

学生の現状からみて、学生が受け入れ企業に魅力を感じて就職につながることも、また、離職率を減らす課題解決までには、更なる企業側の努力が求められていることを感じました。



株式会社ヤングトラスト 小林栄子

新春講演会・懇談会

新春講演会

演題 事業戦略の思考法 —Glocal から見えてくる local と文化— 川越産のサツマイモから製造したクラフトビールを世界 28 か国に展開した「COEDO」の戦略

講師 株式会社協同商事 コエドブルワリー 代表取締役 朝霧重治氏

「アグリビジネス」を真摯に追及した講演内容でした。

地ビールのブランドを再構築し、川越産のさつま芋から製造した6種類の違った味わい。ビンのデザインやラベルの色への拘り……。『溢れる日本の色』から選ばれた瑠璃、伽羅、漆黒といった色は、ビンの中身までも引き立てています。また、ビールそのものにも常に改善が加えられ、海外の28もの国へと出荷されているとか。

日本の物造りの真骨頂を見た気がしました。

休耕地を借り受け、社長自ら麦を蒔かれたという川越の地が、麦秋を迎え黄金色に染まる光景は圧巻です。

特に印象に残ったのは、野菜くずからメタンガスを



日時 令和6年2月6日(火) 16:00～17:30

場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F エメラルド

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県

後援 (公財)埼玉県産業振興公社、(一社)埼玉中小企業家同友会女性経営者クラブ・ファム、日本政策金融公庫、青木信用金庫、埼玉りそな銀行、川口信用金庫、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、飯能信用金庫

生成し、工場での燃料に使用しているというお話。また、青果花卉の畑からの産地直送販売にも取り組んでおられるとのこと。農業を様々な側面からとことん深掘りされています。



岳父から受け継いだ会社を八面六臂の大活躍で発展させている中興の祖、朝霧重治社長からは今後も目が離せません。

東和瓦斯工業株式会社 荒井保子



新春懇談会

日時 令和6年2月6日(火) 18:00～20:00

場所 ホテルブリランテ武蔵野 2F サファイア



マクベス鑑賞会



日時 令和6年3月1日(金) 13:00～
場所 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
担当 企画交流委員会

マクベス

はえぎわ×彩の国さいたま芸術劇場
原作…ウィリアム・シェイクスピア
翻訳…松岡和子
上演台本・演出…ノゾエ征爾

「きれいはいきたない きたないはきれい」
三人の魔女の呪文のようなセリフから幕が上がった。会場内の空気は一変し怪奇な世界観へと誘われていく。

3月1日 彩の国さいたま芸術劇場のこけら落とし公演「マクベス」の始まりです。マクベスは、権力に対する欲望、それを抑えようとする倫理観のはざまに葛藤し、最後は欲望に打ち勝つことができず王を暗殺してしまう。それを唆した夫人もまた、罪悪感にさいなまれ、狂気の末に身を滅ぼしてしまう。善と悪とのはざまに揺れる人間の心理を、冒頭のセリフは象徴しているのかと思いました。

今回の公演が上演された“さいたま芸術劇場小ホール”は、舞台を囲んで客席が300席程の劇場で、演者と観客の距離がとても近く臨場感にあふれた劇場です。まだ、ご覧になっていない会員の方は是非足をお運び頂けたらと思います。

最後に鑑賞会は、埼玉県庁女性管理職の方々との交流会をご縁に企画する事ができました。ご尽力いただきました関係各位の皆様へ感謝申し上げます。

株式会社右門 町田明美



大野知事バックコーラスとして出演！

第32回埼玉政財界人チャリティ歌謡祭に、埼玉県大野元裕知事(Kiroroの『未来へ』)のバックコーラスとして、手話と歌声を披露してきました。当クラブからは知事のバックコーラス以外にも、コマームの小松さんが活力あふれた様子で出演されていました。歌謡祭は、大宮ソニックシティで収録され、年始にテレ玉で放送されました。日常のレディースの活動とはちょっと違う学園祭のような雰囲気がとても新鮮でした。



新入会員紹介 2023.4～2024.3

※五十音順



稲村 佳子

株式会社 Be-Links
代表取締役社長

事業紹介 中小企業業務改善コンサルティング、kintone システム構築、DX 人材育成

会での抱負 先輩方からの学びの機会をいただき、ありがとうございます。経営者としても、人としても成長できるように全力で行動していきます。



緒形 郁美

株式会社コペンフラップ
取締役

事業紹介 女性向けデザインスクール「コペンカレッジ」とクリエイティブ制作事業を営んでいます。

会での抱負 コロナ禍よりスクールもオンラインで実施、打ち合わせなどでも人と会う機会が減っており、地に足をつけ人脈を広げたいと考えています！



西山 深雪

株式会社PDnavi
代表取締役社長

事業紹介 出生前検査などに関するオンラインカウンセリング、コンサルティング・研修、出張授業

会での抱負 皆様からの学びと繋がりを通して、自身の経営者としての自覚・成長を促し、皆様と新しい未来を創出していきたいと思っています。



松田 見奈美

株式会社メディコム
監査取締役

事業紹介 川口市で不動産業をしています。管理・賃貸・売買・相続など幅広く展開しています。

会での抱負 会員の皆様と共に学ばせていただきながら、素晴らしい出会いや体験を通し、女性経営者としてより成長したいと思っています。



内田 三恵子

特定非営利活動法人子ども支援ホーム
マネージメントリーダー

事業紹介 埼玉・東京・北海道・兵庫での放課後児童クラブ、放課後子供教室の運営。ダンスに特化。

会での抱負 貴重な体験をなさってきた先輩方からまずは学ばせていただき、自分に何ができ、何がしたいのか、そして何か還元できるのかを模索していきたいです。



金子 真由美

水戸証券株式会社
川口支店 支店長

事業紹介 証券業

会での抱負 みなさまとの交流を通して様々なことを学ばせていただき、クラブの発展にも貢献できるよう努力していきたいと思っています。



橋本 香穂

運命鑑定（メンタルマネジメント）香穂
代表

事業紹介 生年月日から、先祖の徳分や恩恵、自身に備わる天与の資質、特性、今後の運氣等を調べます。

会での抱負 サイタマレディーの皆様のパワーがすごくて、素敵だなと感じており、そこからさまざまなことを学ばせていただきたいと思っています。



吉田 幸果

川越紅茶館 coeur a coeur (クーラクー)
代表

事業紹介 川越の観光地入口で創業 22 年の紅茶専門店を運営。テーブルコーデや紅茶等の講座も有り

会での抱負 埼玉県で活躍する素晴らしい皆さまのお仲間になれ感謝しています。たくさん学ばせていただき、自店に活かしていきたいです。

今年度の出来事 | 2023.4 ~ 2024.3

2023

- 4月
 - 植田和男氏が日銀新総裁に就任
 - 和歌山での岸田首相演説会場に爆発物投げ込み
- 5月
 - 主要7か国首脳会議（G7サミット）が広島で開催
 - WHOが新型コロナウイルスによる緊急事態の宣言を終了
 - 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行
- 6月
 - 東京株式市場日経平均株価が約33年ぶりに3万3000円台に上昇
 - 性的少数者への理解増進法（LGBT法）が成立
- 7月
 - ビッグモーターの保険金不正請求判明により創業者社長が引責辞任
- 8月
 - 福島第一原発処理水の海洋放出が開始
- 9月
 - 女性閣僚が過去最多に並ぶ5人となる、第2次岸田再改造内閣が発足
- 10月
 - 消費税率ごとに税額を示すインボイス制度が開始
 - イスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突が勃発
 - 将棋の藤井聡太竜王が21歳2カ月で史上初の八冠独占を成し遂げる

- 11月
 - プロ野球日本シリーズで阪神タイガースが38年ぶり日本一
 - 大リーグの大谷翔平選手がMVPを受賞
- 12月
 - 大谷翔平選手、エンゼルスからドジャースへ移籍
 - 裏金疑惑により4閣僚と5人の副大臣が交代

2024

- 1月
 - 石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生
 - 宮崎駿監督「君たちはどう生きるか」が米ゴールデングローブ賞のアニメ映画賞を受賞
- 2月
 - 男女雇用機会均等法の成立に尽力した元文部相の赤松良子さんが死去
 - 東京株式市場日経平均株価が3万9098円68銭と34年2カ月ぶりに史上最高値を更新
- 3月
 - 第96回米アカデミー賞で「ゴジラー 1.0」が視覚効果賞、「君たちはどう生きるか」が長編アニメーション賞を受賞
 - 東京外国為替市場で円相場が一時1ドル=151円97銭まで下落、34年ぶりの円安水準
 - 宝塚歌劇団が、宙組女性団員が急死した問題で上級生らによるパワハラを認め、謝罪

Instagram と Facebook の運用を開始いたしました！

サイタマ・レディーズ経営者クラブではこれまで、ご紹介などを中心に会員募集してまいりましたが、もっと広い世代に当会を知っていただきたい、もっと多くの経営者の皆さまに仲間になっていただきたい、という思いからInstagramとFacebookの運用を開始いたしました。

イベントのお知らせや開催報告などを中心に当会の活動の様子を掲載してまいります。今まで以上にリアルタイムで情報を発信していきます。ぜひフォロー & シェア等をいただけますと幸いです。



編集後記

原稿の作成をしていただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、広報委員会のメンバーの方々のおかげで、今回も広報紙が無事に発行できました。いつもご協力ありがとうございます。

現在の広報紙は、その年の活動報告記事を中心に紙面が構成され、年に1回という頻度で発行されています。ネット環境が充実し、スマホの浸透、ペーパーレスの加速等という

かで、これからの広報のあり方（私としては、印刷会社のあり方も切実なテーマですが…）を考える必要性が増えています。今後どのような形・媒体・頻度で情報を発信していくのか。上記のSNS運用が始まったのも、時代の変化に応じたものだと思います。「その時代に合わせた情報発信のあり方を模索していく」という、まさに終わりのないテーマを意識した活動をしていきたいです。（相木）

■ 広報委員会…土橋（担当副会長）、相木、川合、田島、緒形、河野、荒井、石川、伊藤、久賀、山口（敬称略）

【埼玉県連携窓口】 埼玉県産業労働部産業支援課 担当 長谷川

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 TEL 048-830-3903 FAX 048-830-4813

発行者 サイタマ・レディーズ経営者クラブ

会長 栗田美和子 ● 連絡担当課 埼玉県産業労働部産業支援課 電話 048-830-3903 ● 印刷 関東図書株式会社 電話 048-862-2901